

## 未確定資料

## 参考資料 3

平成 17 年 3 月 23 日中央環境審議会化学物質評価専門委員会準備資料案  
平成 15 年度初期環境調査結果報告書より抜粋

## [4] クロルデコン [平成 15 年度調査媒体: 大気]

(別名: キーボン、ケボン、CAS 登録番号: 143-50-0)

## ・ 選定理由

クロルデコンは、農薬(殺虫剤)としての用途のある物質であるが、日本における農薬登録の実績は無い。POPs条約の候補となる可能性のある物質であり、平成14年度物質選定検討会において水質、底質及び大気における実態把握が必要とされた。大気については平成14年度に分析法が開発され、平成15年度に調査が実施された。

## ・ 調査内容及び結果

大気中の濃度把握を目的として、検出下限値  $0.0005 \text{ ng/m}^3 (=0.5 \text{ pg/m}^3)$  において2地点で調査を実施したが、検出されなかった(欠測扱い: 1地点)。

## ・ 評価

大気は、平成15年度が初めての調査であり、検出下限値  $0.0005 \text{ ng/m}^3 (=0.5 \text{ pg/m}^3)$  において1地点で調査が実施され、不検出であった。過去に調査がなされていないため環境中濃度の傾向は判断できないが、今回調査した範囲内では大気からはクロルデコンが検出されないことが確認された。

## クロルデコンの検出状況

大気	検出頻度		検出範囲 ng/m <sup>3</sup>	検出下限値 ng/m <sup>3</sup>
	検体	地点		
平成15年度	0/3	0/1	不検出	0.0005 (= 0.5pg/m <sup>3</sup> )

## ・ 環境省内の他の調査結果

無し

## 【参考：クロルデコン】

- ・ 用途 : 殺虫剤<sup>62)</sup>
- ・ 生産量・輸入量 : 不詳
- ・ PRTR 集計結果・排出量 (kg/年) : 無し
- ・ 分解性 : 難分解<sup>96)</sup>
- ・ 濃縮性 : 高濃縮<sup>96)</sup>
- ・ 媒体別分配予測 : 不詳
- ・ 反復投与毒性 : 不詳
- ・ 発がん性、催腫瘍性 : IARC(1987年)グループ 2B<sup>40)</sup>
- ・ 生態影響 : 内分泌攪乱作用を示すと疑われた結果:  $1 \mu\text{g/kg}$ <sup>63)</sup> (26 日間暴露後、メダカ (*Oryzias latipes*) で産卵遅延が認められた濃度<sup>64)</sup>、この作用濃度は信頼性が低かった。)
- ・ 急性毒性等 : 不詳
- ・ 許容濃度 : 不詳
- ・ 規制・基準 :
  - [パーゼル] 特定有害廃棄物等(法第2条第1項第1号イ / 三省告示(41イ 有機ハロゲン化合物(他の号以外)) (廃棄物、0.1重量%以上))<sup>37)</sup>
  - [外為] [輸入令]第4条第1項第2号(2号承認)(有機ハロゲン化合物(他の号以外)) (0.1重量%以上(廃棄物))<sup>37)</sup>
  - [外為] [輸出令]別表第2(輸出の承認)(35の2(1)[パーゼル])<sup>37)</sup>